

項目	観点	教科書名		
		新しい技術・家庭 技術分野(2・東書)	技術・家庭 技術分野(6・教図)	技術・家庭(技術分野)(9・開隆堂)
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について	○ものづくりなどの実践的・体験的な学習を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、どのように配慮されているか。	・写真や説明資料により、生徒が学習のポイントに気付きながら基礎的・基本的な知識及び技術を習得できるよう配慮されている。 ・学すべき技能を「基礎技能」としてまとめ、いつでも学ぶ事項を見て確認できるよう配慮されている。	・具体的な加工法を図や写真を整理して大きく掲載し、生徒が基礎的・基本的な知識及び技術を習得しやすいよう配慮されている。 ・「基礎技能・知識」のコーナーを示し、確認できるような配慮がされている。作業時の「注意」や「コツ」を取り入れ、具体的な技能を習得できるよう配慮されている。	・図や生徒目線での写真を組み合わせて掲載し、生徒が基礎的・基本的な知識及び技術を習得しやすいよう配慮されている。 ・「考えてみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」という様々な問いから、それらを解決するために必要な知識や技術を学ぶことができるよう配慮されている。
	○技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深めるために、どのように配慮されているか。	・今後の技術の在り方を考えられるような図やグラフを掲載し、生徒が技術と社会や環境とのかかわりを理解しやすいよう配慮されている。 ・本文などに「環境マーク」などを用いて環境や社会とのかかわりを示し、生活との関連や結びつきを常に考えられるよう配慮されている。	・生活上の課題を解決する視点で考えるための資料を掲載し、生徒が技術と社会や環境とのかかわりを理解できるよう配慮されている。 ・主に、エネルギー変換や生物育成の内容で、社会や環境とのかかわりについて示し、結びつきを考えられるよう配慮している。	・持続可能な社会の実現に向けた取組等の資料を掲載し、生徒が技術と社会や環境とのかかわりを理解できるよう配慮されている。 ・各内容ごとに「社会・環境とのかかわり」を示し、考えを深める工夫が見られる。
	○技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てるために、どのように配慮されているか。	・技術を評価するための資料やワークシートを掲載し、生徒が技術を適切に評価するための視点を身に付けられるよう配慮されている。 ・評価・活用に関する内容ごとに「技術の天びん」として技術のもつプラス面とマイナス面を比較して評価できるよう配慮されている。	・新しい技術に関する資料を掲載し、生徒が現在の技術を評価し、よりよい技術を創造しようとする態度を身に付けられるよう配慮されている。 ・「調べよう」「考えよう」により、技術の評価・活用について関心をもつことができるように工夫されている。	・技術の生かし方を考える具体例を掲載し、生徒が技術を評価し活用するための視点を身に付けられるよう配慮されている。 ・各内容ごとに評価・活用の内容を示して、理解を深めることができるよう配慮されている。また、学習内容を「ふり返ろう」「生活に生かそう」という視点で、評価・活用をする工夫が見られる。
2 内容の程度及び取扱いについて	<基礎・基本の定着のための工夫> ○基礎的・基本的な知識及び技術を習得させるために、取り扱う題材や実験等には、どのような工夫が見られるか。	・生徒にとって身近な材料を扱った実験や実習を通して、基礎的・基本的な知識及び技術を習得できるような工夫が見られる。 ・身近なものや防災に関する題材や実験例を取り上げ、関心を高めるとともに、技術の習得のための工夫が見られる。	・題材例を多く取り上げたり、材料に応じた製作課題を取り上げたりすることを通して、生徒が実践的・体験的に基礎的・基本的な知識及び技術を習得できるような工夫が見られる。	・生徒の関心を高める実習を通して、基礎的・基本的な知識及び技術を習得できるような工夫が見られる。 ・作業時の手元の写真を多く取り入れ、生徒の目線で実習・実験などができるような工夫が見られる。
	<関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫> ○関心や意欲を高め、主体的な学習活動を展開するために、どのような工夫が見られるか。	・学習の流れを統一的に示し、生徒が学習の見通しをもちながら活動に取り組めるような工夫が見られる。 ・誌面を大きくし、技術に関する情報を増やしたり「ひとくちQ」を各ページに取り入れたりするなどにより、興味関心をもつことができるような工夫が見られる。 ・「リンク」や「他教科」「小学校」のマークを用い、既習事項や今後の学習とを関連付けて考えることができるよう配慮されている。	・実習過程を細かく示し、生徒が実習例の写真や図を参考にしながら活動に取り組めるような工夫が見られる。 ・「調べよう」「やってみよう」「考えよう」のコーナーを設けて、生徒が主体的に取り組めるような工夫が見られる。	・ものづくりの過程について写真やイラスト等で示し、生徒が学習の見通しをもちながら活動に取り組めるような工夫が見られる。 ・学習の目標が明示されるとともに、「豆知識」が各ページに掲載され、興味・関心を高める工夫が見られる。 ・「リンク」を設定し、他の学習内容や家庭分野、他教科の内容との関連付けを図る工夫が見られる。
	○技術と社会や環境とのかかわりを扱う上で、どのような工夫が見られるか。	・技術と環境、経済、社会とのかかわりや新しい技術の開発に関する内容を編末に取り上げ、生徒の関心が高められるような工夫が見られる。また、ワークシート例を掲載し、生徒がまとめやすいようにする工夫が見られる。	・技術と社会や環境が互いに影響を及ぼし合う事例を取り上げ、新しい技術と関連させながら学習を進められるような工夫が見られる。	・内容ごとに技術と社会や環境とのかかわりについて取り上げ、新しい技術に対する関心を高めながら学習できるような工夫が見られる。また、ワークシート例を掲載し、生徒がまとめやすいような工夫が見られる。
	<個に応じた指導のための工夫> ○習得した知識及び技術を生活に生かす観点から、発展的な内容にはどのような工夫が見られるか。	・実習例の中に発展的な内容を掲載したり、資料の中に「発展」を示したりするなど、習得した知識及び技術を活用するための課題を編末に示すなどの工夫が見られる。	・発展的な題材を設定するとともに、学習した内容を生活の中で活かすための課題を設定するなどの工夫が見られる。	・発展的な実習例を設定するとともに、学習内容を生かすための課題を内容の終わりに示すなどの工夫が見られる。 ・「参考」や「発展」を用いて、学習内容から発展して知識や理解を深めるための工夫が見られる。
	○実習等の安全面への配慮には、どのような工夫が見られるか。	・安全に関する視点についてはガイダンスの頁に、具体的な注意事項については各実習の頁に多くの例を掲載し、「安全」と「衛生」を用いて、安全面と衛生面を分けて示す工夫が見られる。	・安全に関する留意点については、機器や道具の操作、薬品使用等の各実習の頁に写真と「安全」や「注意」を用いて掲載し、注意点を示す工夫が見られる。	・学習全般の注意事項はガイダンスの頁に、具体的な注意事項は各実習の頁に分けて「安全」マークを用いて掲載し、作業中の事故防止を重視する工夫が見られる。

3 構成・配列・分量	○内容AからDの構成・配列及びその関連について、どのような特色があるか。	・小学校や他教科等との関連を，編頭や実習の頁等に表示することにより，系統的な指導ができるような構成に特色がある。	・学習内容の関連する頁を表示することにより，相互の学習の理解を深めながら学習を進めることができるような構成に特色がある。	・小学校までの学びをガイダンスの頁に掲載したり，学習の流れを一覧で表示したりすることにより，生徒が見通しをもちながら学習を進めることができるような構成に特色がある。
	○指導内容の充実を図るために，内容AからDの配分及び分量について，どのような特色があるか。	・内容AからDはバランスよく配分されている。発展的な課題や資料等の種類が多く，様々な実習例を取り上げている点に特色がある。	・内容AからDはバランスよく配分されている。課題意識をもたせるための発問や発展的に扱う実習例が充実している点に特色がある。特に，生物育成についての内容が充実している。	・内容AからDはバランスよく配分されている。発展的な内容が充実している点に特色がある。
4 表記・表現	○図，さし絵，写真，資料等の表し方，さらに目次，見出し，マーク，キャラクター，吹き出し等には，どのような工夫が見られるか。	・写真やイラストを用いて実験や実習を説明したり，インデックスを作業工程ごとに表示したりするなど，わかりやすく表示する工夫が見られる。 ・「環境」「技術の天びん」などの様々なマークを表示して，学習の視点を明確にする工夫が見られる。 ・編末の「学習のまとめ」で，重要な用語をまとめる工夫が見られる。	・大きな写真やイラストを用いて製作工程を表したり，実習上の「コツ」を表示したりするなどの工夫が見られる。 ・巻末資料にデジタル用語一覧と技術に関わるマークをまとめて掲載するなど，用語やマークをわかりやすくするための工夫が見られる。	・実習する生徒の目線での写真やイラスト，図版を用いて説明したり，各頁下に「豆知識」を設けたりするなどの工夫が見られる。
5 体裁・使用上の便宜	○文字，図版等の印刷や文字等の大きさ，書体，表紙等の体裁及び使用上の便宜については，どのように配慮されているか。	・書体はすべて可読性の高いユニバーサルデザインフォントを使用し，大判の紙面を用いて，文字や写真，イラストなどが見やすくなるよう配慮されている。 ・「教科書の学び方」を掲載し，教科書の使い方が理解できるよう配慮されている。	・重要語句は太字で表示し，紙面には適度な余白を取り入れ，写真やイラストが見やすくなるよう配慮されている。	・重要語句は太字で表示し，カラーバリアフリーデザインを採用して写真やイラストが見やすくなるよう配慮されている。